



科学の楽しさと大切さ

～私の経験から～



東京大学宇宙線研究所の梶田隆章先生は、長年にわたり基礎科学の最前線で研究を続けてこられ、ニュートリノ研究により2015年にノーベル物理学賞を受賞されました。また、日本学術会議の会長として、学術と社会の関係構築にもご尽力されました。本講演では、そのご経験をもとに、科学の楽しさと大切さ、学ぶことについてお話しいたします。

梶田 隆章 氏

東京大学卓越教授(宇宙線研究所)・特別荣誉教授

PROFILE

1959年埼玉県生まれ。史上初めて、銀河系外から飛来した「超新星ニュートリノ」を観測した「カミオカンデ実験」、それまで質量ゼロと考えられてきたニュートリノに「質量がある」ことを明らかにした「スーパーカミオカンデ実験」に参加。

1998年、ニュートリノ質量の発見を、研究グループを代表して国際会議で発表。

2015年、「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、アーサー・B・マクドナルド氏(SNO実験)とともに、ノーベル物理学賞受賞。

2026 **7/29** 水 **17:00**~

16:30開場

愛媛大学 南加記念ホール
愛媛県松山市文京町3(城北キャンパス)

参加無料・事前登録制

対象 愛媛大学教職員・学生、市民一般

形式 対面・オンラインのハイブリッド

定員 対面:250名程度/オンライン:先着300名

主催 愛媛大学先端研究院

参加登録フォーム

